明科いいまち通信

明科いいまちつくろうかい!!
回覧
編集・発行

No. 57

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎62-3001　／　明科公民館：☎62-4605

令和２年１月１６日 発行

今月の明科の事業所・団体紹介

今回は **潮沢ロマンの会** です

潮沢ロマンの会代表
寳　喜吉

【潮沢ロマンの会】の歩み

「村から町、そして市への合併。地域の詳しい歩みは時を経て徐々に忘れ去られていく。今まとめないと若い人に継承できない。」

平成 22 年 4 月、東川手の行政や産業・文化・教育等の歴史を記録に残そうとの元明科町長の小林一富さんの呼びかけに、東川手地区の歴史愛好者等 6 名が潮公民館に集まり「東川手歴史の会」を発足させ活動を始めたものの高齢な事もあり、24 年 3 月、会の活動は滞った。その頃、等々力秀和さんより、安曇野市環境行動計画の「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」作成の紹介があり、これに参加し、安曇野の景観まちづくりや歴史文化、暮らし等を一緒に学んだ。

25 年 3 月にプロジェクトの案がまとまり、同年、各地域の区長会への説明、取り組み周知の散策行事を経て、市内のモデルとなる地区への応募を求めた結果、潮沢区がモデル地区となった。潮沢区での取り組みの第一歩は、①廃線敷と周辺集落のみちを活用した里山めぐりのコースづくり、②廃線敷沿線のケヤキの森づくり、③岩州公園の活用の 3 点を目標とした。そして、27 年 8 月、潮沢ロマンの会を 3 名で発足、月 1 回集まり、資料収集、聞き取り現地調査等を開始した。

歩いて楽しいまちづくりプロジェクトの皆さんと 5 年間にわたり作成したのが「廃線敷に D51 が走った時代」「明科岩州山善光寺裏街道をゆく」「潮沢名九鬼の平家にまつわる物語」「モデル潮沢の紹介 DVD」、そして唐沢良英氏作成の「潮沢柏尾の魅力御嶽社」。実際に岩州山、物見岩、名九鬼、二見岩等々広い地域を廻り、改めて潮沢の歴史文化の深さに気づく事ができた。この事業の成果を元に、31 年 2 月 16 日に NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団と「安曇野ふるさと遺産」に関する協定を結んだ。認定されたのは「潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし」である。

30 年 2 月の会議をもってプロジェクトは解散したが、31 年 4 月 10 日、潮沢ロマンの会は新たにプロジェクト 19 名の参加を得て再出発し活動を続けている。主な活動は明科公民館の魅力再発見講座、安曇野環境フェア、明科高校での講座、明北・明南小学校との廃線敷学習会の他、4 年にわたり夏場に都会の子供と潮沢盆踊りでの交流会や、「ふるさと留学わんぱくキャンプ」を通した歴史文化の学習会等を行ってきた。さらに潮沢地区社協では我が郷土潮沢の歴史講座も始めた。

修験者や山伏、山城等、研究課題も沢山あるが、潮沢に関わる資料・写真等ありましたらご協力をお願いしたい。

岩州公園ウォーキングイベント

明科公民館での明科魅力再発見講座の様子

ふるさと留学わんぱくキャンプの記録

追悼

―西村さんの思い出―

昨年11月15日、約7年にわたり「明科たからばこ」を執筆されていた西村永明さんが64歳で逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

「永明は真面目で実直、何事にも一生懸命取り組む男でした。過疎化により地域が小さくなっていく中でも、この場所を大事にしたい”と諦めず、少しでも良くなるように陰ながら力を尽くしておりました。」…会葬御礼にはこんな文章が書かれていた。本当にそのとおりの人間だった。どうしてこんなことになったのか、残念でならない。

火災から1週間後、以前の明科支所の仲間数人と自宅に花を供えに行った。自宅はほぼ全焼であったが、焼け残った数冊の書籍が付近に散乱していた。西村さん、もっと読みたかったのだろうと思うとさらに悲しさがこみあげてきた。

以前西村さん宅に来た時は桜の時期だったと思う。近くに大きな枝垂れ桜が天空に延び、枝葉をとおして垣間見える北アルプスが美しかった。西村さんの自宅のある長峰山の中腹の集落矢ノ澤は四季の移ろいが楽しめる場所だ。安曇野市役所退職後、自宅をリフォームして書斎を造った。自ら「出水庵」と名付け、郷土史を研究し、執筆する生活をしていた。退職後の4年間ほどは自身の好きな生活ができて満足であったにちがいない。

私が西村さんと出会ったのは5年前明科公民館に勤務した時だった。彼は明科支所長として退職前の最後の1年間の勤務を残していた。第一印象は朴訥でとっつきにくいという感じを持ったが、公民館事業にも理解を示してくれ、運動会、文化祭にも協力してくれた。公民館講座の企画、運営にあたって苦労している私のアドバイザー、協力者として尽力していただいた。

安曇野市役所退職記念写真
（平成28年3月）

平成28年当初、今年はＮＨＫで大河ドラマ「真田丸」をやるからそれにあわせて関係のある講座を企画してみては、と持ちかけられた。それでは真田氏の祖先海野氏が明科に関係あるから海野氏と真田氏の関係をやってみようということになり「明科海野氏と真田丸の時代」というタイトルで講座を行うことになった。講師は文化課職員の逸見大悟君。30人ほど参加者がくれば良いかなと思っていたが、平日の昼間にも関わらず、当日は普段あまり来ない男性客であふれかえった。私の予想は完全に覆され、この講座の来場者は180人。いまだに明科公民館の最高入場記録となっている。これ以降郷土史や地域に関する講座を定期的に実施するようになり、男性客も良く訪れるようになった。

講座「東山魁夷と明科」にて、講義をおこなう西村さん(平成29年12月)

退職後も歴史講座やバス旅行の講師として、公民館事業に協力していただいた。木曽路や海野宿の旅行は、歩行が困難になっていたにも関わらず随行してくれたことに大いに感謝している。

一昨年11月に東京の国立新美術館で東山魁夷展が開催されるので行かないかという誘いがあった。私のほか明科町役場で総務課長だった熊井秀夫さんと豊科公民館の鈴木桂子館長と4人で日帰り旅行を行った。混み合っていたが、唐招提寺障壁画が特別出品されており、他の作品も素晴らしく楽しい旅行となった。この日西村さんは終始上機嫌で、昼食でも普段口にしないビールを飲みながら町制施行40周年記念事業の思い出を語っていた。

今年は東山魁夷らの長峰山来訪50周年となる。この講座を来年度西村さんの講師で予定していたが、本人がいなくなり途方にくれている。しかし、西村さんへの思いも込めて明科公民館で企画し、実施して行きたい。天国で見守ってくれればと思う。

（令和2年1月

明科公民館長　安井　邦夫）

明科公民館からのお知らせ 明

あかしなこうみんかん

3月 March　Akashina　1月 January

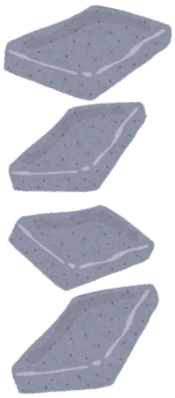
いいまちサロン 第76回 新春コンサート ～箏と尺八の調べ～

新春のひとときを、情趣あふれる箏と尺八の演奏でお楽しみください。

日　時： 1月28日(火) 午後2時～3時30分
会　場： 明科公民館　講堂
出　演： 小澤　雅美穂(まさみほ)さん(箏)
有賀　雅栄(まさえ)さん(箏)
原　靖堂(やすどう)さん(尺八)
曲　目： 竹紫絃明(ちくしげんめい)、夕顔、大きな古時計ほか
参加費： 300円(お茶代)
申込み： 不要
共　催： 明科いいまちつくろうかい!!

こんにゃくづくり講座

あかしな農業塾で育てたこんにゃく芋を使い、手作りこんにゃくをつくります。皆さまどうぞご参加ください。



日　時： 2月6日(木) 午前9時～正午
会　場： 明科公民館　調理実習室
講　師： 望月　亮子さん
参加費： 500円
定　員： 先着20人
対　象： 市内在住または在勤の人
申込み： 1月23日(木)・24日(金)に明科公民館へお電話ください(TEL62-4605)。受付は午前9時～午後5時。

人権啓発コンサート

楽団ケ・セラコンサート

楽団ケ・セラは、ハンディキャップを抱えた若者たちが中心となって構成される楽団です。ハンディを乗り越え、音楽を通して自立を目指す若者たちが、コンサートで華麗な演奏を披露します！皆さまどうぞお聴きください♪

日　時： 2月15日(土) 午前10時30分～
会　場： 明科公民館　講堂
出　演： 楽団ケ・セラ
参加費： 大人500円 / 高校生以下:無料
申込み： 不要
主　催： 安曇野市男女共同参画社会推進会議 明科支部
共　催： 明科いいまちつくろうかい!!

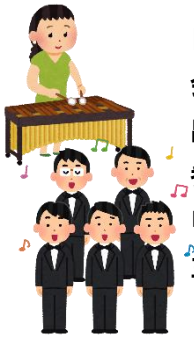
明科歴史探訪 学校メガネから見えるもの

安曇野市文書館が明科地域の学校から収集した資料をもとに、明科の近代の歴史についてお話しします。

日　時： 2月26日(水) 午前10時～正午
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 平沢　重人さん(安曇野市文書館　館長)
参加費： 300円(お茶代)
申込み： 不要
共　催： 明科いいまちつくろうかい!!

いいまちサロン 第78回 春を呼ぶコンサート

3月のいいまちサロンは、春を呼ぶ温かなコンサートです。日本の歌を中心に、ヴァイオリン・フルート・マリンバの演奏と、男声合唱も加わり、多彩な内容で子どもから年輩の方まで幅広い世代にお楽しみいただけます。どうぞお越しください。



日　時： 3月15日(日) 午前10時～正午
会　場： 明科公民館　講堂
出　演： マナ・トーン
参加費： 大人300円｜小中学生:100円｜乳幼児:無料
申込み： 不要
主　催： 明科いいまちつくろうかい!!

新年のご挨拶

新しい年を迎えて

明科いいまちつくろうかい！！
浅見　郁子

皆様、新年をお健やかにお迎えになられました事と拝察いたしお慶び申し上げます。

令和２年、オリンピック開催の記念すべき年が、平和で平穏で幸せな良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

この会も明科地域の活性化と、楽しく、安心、安全のまちづくりを目的に掲げ、発足から７年目を迎えようとしております。地域の皆様からの今までのご協力に感謝申し上げるとともに、これからの更なる明科地域の発展を願いながら原点を忘れずに全会員一丸となって進めてまいりたいと思いますので、一層のご協力をお願いいたします。

地域づくりはこの会だけでは到底できるものではありません。明科には区長会を始め、地域活性に繋がる活動をされている様々な組織やサークルがあります。個々の会の特性を尊重しあいながら横の連携を図り、共通の目的に向かってともに歩めば大きな力が生まれます。今年は地域活性に向けての幅広いネットワークをつくっていくことができたらと考えています。

また、現代の最大の課題は、天災による甚大な被害が何時何処でどのように起きるか解らないということです。今まで、１００年に一度起きるか起きないかと言われていた災害が毎年のように発生するようになってきています。いざという時に備え、身近なコミュニティの形成と支え合い、助け合いの絆を深めていくことが求められます。日頃から学び、支え合える関係づくりを築いていくため「いいまちサロン」をもっとニーズに合った中身を検討し幅広い皆さんが参加できるようにして参りたいと思います。

この会の発足当時から、共に活動を進めてきた明科高校生徒会を中心とした生徒の皆さんとの連携もこの会の大事な柱です。様々な地域活動に参加して共に汗を流し、現に生徒さんからの発信が明科駅前整備には活かされています。今年は熱意ある先生方と共に更なる活躍が期待できます。

明科の誇りでもある風光明媚な豊かな自然、温かな人の心、こんな素敵な明科を、もっと魅力ある地域にしていこうではありませんか。大勢の皆さんの入会お待ちしております。

明科いいまちつくろうかい!!では、明科高校生の皆さんとの連携による更なる地域活性化を目指しています。この度、生徒会長さんより今後の活動についての抱負をお寄せいただきましたので、ここに掲載いたします。

改革～自分自身と向き合って～

明科高校生徒会の新スローガンは**「改革～自分自身と向き合って～」**に決まりました。明科高校には良い所もたくさんありますが、まだまだ改善すべき所が多くあると思い**「改革」**というメインテーマにしました。改善すべき点として、マナーや清掃、授業態度が挙がりました。このことを改善するには一人一人の意識を高めることが大切だと考え、サブテーマを**「自分自身と向き合って」**にしました。また、校内の活動だけでなく先輩方が大事にしてきた地域との活動を増やし地域の活性化に貢献していきたいと思います。

編集後記

・昨年末心臓血管のつまりが見つかり、バイパス手術を行いました。これからは身体、衣類ともつぎはぎだらけの人生を送ることになりそうです。（や）

・とても欲しいCDがあるのですが、販売元がつぶれ、国内では中古盤すら出回らない状況。しかし海外オークションではなぜか新品が定価で売られていました。英語は超絶苦手で外国人とやり取りしたことはないのですが、出川哲朗を見習い、勇気を振り絞ってカタコト英文をメールしてみたところ、なんと購入に漕ぎつけられました！出川哲朗ありがとう！（ふ）

毎月第３日曜日は

家庭の日　～家族で一緒に過ごしましょう～

家庭の日には、優待制度が利用できる店舗・施設等があります。詳しくは「長野県青少年育成県民会議」ホームページまで。
http://himawari-nagano.jp/